



移民県和歌山と「第2回和歌山県人会世界大会」について

和歌山県企画部企画政策局国際課

和歌山県と移民について

和歌山県は、3万3,000人を超える方々が海外に移住した全国で6番目に移住者の多い県です。「進取の気性」と「国際性」に富んだ先人は、異国の地でさまざまな困難を乗り越えて生活基盤を築かれました。そして、日本人としてのプレゼンスを大いに発揮し、互いに助け合いながら、刻苦勉励してこられました。移住された方々の多くは出稼ぎを目的としており、その故郷への送金額は大正末期まで全国1位だったといわれています。

海外の和歌山県人会について

世界各地へ移住した和歌山県出身の人々は、親睦や相互扶助を目的に、和歌山県人会を組織しました。故郷から遠く離れた異国の地において、県人会の存在は移住者たちの心のよりどころとなりました。

現在、移住された方々やその子孫を中心に構成される県人会は8カ国に10団体あり、約1,650名の会員が所属しています。



和歌山県人会と和歌山県との交流

和歌山県では、各地の県人会が開催する創立記念式典に訪問団を派遣し、移民やその子弟の方々との交流を深めています。

また、県人会の子弟を数週間受け入れ、県内の高校生、大学生との交流や日本文化体験、交流イベントなど、さまざまな形で日本・和歌山を体験する事業を実施しています。

第2回和歌山県人会世界大会について

2023年10月5日から8日にかけて、在外・国内の和歌山県人会員がふるさと和歌山で一堂に会し、和歌山にルーツを持つ方々の郷土への誇りを高めるとともに、県民との相互交流や移民史に対する県民の理解を深める機会を創出することを目的とし、第2回和歌山県人会世界大会を開催しました。大会には計467名の県人会員の参加がありました。

初日の10月5日は、白浜町で「オープニングイベント」を開催しました。地元食材を利用した料理によるおもてなしや、地元文化団体によるパフォーマンス披露などにより県人会の皆さまを歓迎しました。



白浜円月太鼓のパフォーマンス



翌10月6日は、「ふるさと巡りツアー」を行いました。県人会ゆかりの地域を中心に県内8コース（和歌山市、紀の川市、美浜町、みなべ町、新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町）を訪問し、学校訪問や地域住民との交流などをさせていただきました。

10月7日は、午前中に広川町とすさみ町で「わかやまスタディツアー」を実施し、北米・豪州地域の県人会員に、和歌山県の歴史について理解を深めていただきました。また、田辺市において「中南米県人会シンポジウム」を開催し、中南米地域の県人会員が田辺市の高校生



ふるさと巡りツアー（那智勝浦町）の様子



中南米県人会シンポジウムの様子



弁慶ゲタ踊りの様子

とともに、本県と中南米県人会との次世代交流について意見交換を行いました。

さらに、午後からはすべての県人会員に田辺市で開催された「弁慶まつり」のプログラムである弁慶ゲタ踊りへの参加に加えて、合気道の演武見学・体験をしていただきました。

最終日となる10月8日は、和歌山市のホテルアバローム紀の国で「和歌山体験ブース」を開催し、時代衣装着付け、漆器蒔絵、梅ジュース作りなど8つの和歌山が誇る文化を体験いただきました。また、県民文化会館において「記念式典」を開催しました。記念式典では、参加県人会の紹介、県人会への記念品贈呈、県人会代表による大会宣言などを実施し、フィナーレでは「よさこい」を県人会員も舞台上で踊るなど、大盛況のうちに終わることができました。



第2回和歌山県人会世界大会フィナーレ

続いて、世界大会最後のプログラムとなる「歓迎レセプション」をホテルアバローム紀の国で催しました。海外県人会によるパフォーマンス披露で熱気に包まれた会場で、各県人会員が相互に交流を楽しみました。

今後の展望について

和歌山県はこれまででも、本県の移民の歴史に対する理解を深めていただくため、巡回パネル展の開催、県人会員と県内青少年とのオンライン交流事業の実施、移民の歴史や現地での生活などを紹介する県人会員のインタビュー動画作成などを行ってきました。

この世界大会を契機として、引き続き、県民の移民史理解を深めるとともに、県人会活動の活性化、各県人会間の交流の増進、本県と県人会との交流を強化する取り組みを実施してまいります。